

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年7月30日

6班綱木さん宅被害状況、フリーボランティア園田さんグループの作業風景



しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年7月31日

1. 本日31日は、【くまもと友救の会】とグリーンコープの合同チーム18名による、片岡さん空き地の分別回収作業でした。この作業は、7月21日以来休みなく、今日で10日目となりました。

『ビフォー』午前9時



『アフター』午後6時



これまで、トン袋で何個排出したことでしょう。それでもバリカンで2回通したくらいでしょうか。丸坊主には、まだまだ時間がかかりそうです。**重機操作のスタッフ**は限られているため、**休憩時間もなく作業**されていました。本当にありがとうございます。

2. 別動隊のグリーンコープスタッフ5名は、球磨村一勝地で活動されました。明日予定していた、**高校生が都合でこれなくなりました**。園田チーム15名は、計画通りです。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月1日

1.消毒液配布のお知らせ（人吉市ホームページより）

市役所が屋内清掃用の消毒液の配布を7月31日（金）から開始します。費用はかかりません。

対象者：床上浸水した家屋の所有者又は居住者

配布物：塩化ベンザルコニウム液(逆性石鹼)消毒液1本(500ミリリットル)/1世帯

※塩化ベンザルコニウム液の使用上の注意

消毒作業の前に十分に屋内を清掃し、乾燥させてください。

【使用方法】

水道水で100倍に希釈{薬剤容器のキャップ2杯(5ミリリットル)に水1リットル}して御使用ください。

【対象・用量】

1. 家屋、乗物などの消毒

床面、畳、家具類、調度品類、手洗い場、浴室、便所、便席、手すり、電話機などには、希釈液で清拭してください。

2. 食器・器具類の消毒

茶碗類、皿類、カップ類、包丁類、他調理器具類などは水洗いした後、希釈液に5分間以上浸した後水洗いしてください。

【注意事項】

1. 使用前に必ずラベルをよく読み、十分理解した上で使用すること。
2. 誤って飲んでしまうと事故につながるので、薬剤をペットボトルなどに移し替えないこと。（過去に誤飲による事故が発生しています。）
3. 薬剤を扱うときは、ビニールまたはゴム手袋を着用すること。
4. 本剤を他の薬剤と混合したり、加熱したりしないこと。
5. 薬剤を口や目に絶対にいれないこと。

【希釈液の作り方】裏面参照

※原液では使用しないで、必ずうすめてから使用してください。

○ 100倍希釈液 → 薬剤容器のキャップ2杯を水1リットルにうすめる。

配布日：東校区は、8/1と8/4（13:30～15:30）東西コミセンで配布。

1日の配布には過ぎてしまいました。必要な人は、家城までお知らせください。4日に一括して取りに行きます。こんな情報こそ、防災無線でお知らせすべきですよね？

2.くまもと友救の会とグリーンコーポのスタッフのほか、中央幼稚園のスタッフ3名が、片岡さん空き地処理に駆けつけてくれました。8班の一山さんは、ダンプカーを調達して参加いただきました。園田さんのグループは、15名で6班の綱木さん宅、家具類を屋外に出すところまで進みました。



3.水天宮の鳥居と賽銭箱が被害に遭いました。写真を撮ってみると、東日本大震災で唯一生き残った1本松を彷彿とさせる、**根性の鳥居**に見えてきました。

4. 今日（8/1）の片岡さん空き地



しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月2日

1. フリーボランティア園田さんグループは、鹿児島の地域タレント（ジャンケンマン・グループ）、福岡からの2名（下野、茂見）、芦北、、、総勢18名で、早朝7：30には集合して、6班の岡木さん、七日町の空き家処理に入っていただきました。泥上げまではできませんでしたが、復興の足取りは軽快になってきています。

2. くまもと友救の会とグリーンコープの合同チームによる、片岡さん空き地の処理は、地ならしのあと、砂利を敷き詰めて、完了となります。目標は、8月5日。

今後町内のゴミは、基本的に個人で市の集積所へ搬出していただくことになります。困難なご家庭は、家城までお知らせください。現在、検討している箇所は、

- ①会館のゴミ搬出
- ②6班の岡木さん宅前のゴミ搬出
- ③七日町の空き家前のゴミ搬出
- ④4班井福さん宅前のゴミ搬出
- ⑤路上の泥処理：市による回収
- 6班園田さん軽トラック、可能であれば5班椎葉さんの散水車利用、その他、提供いただく車両で、町内景観の改善



困難な問題と思われるゴミ処理箇所

⑥2班友井さん5班中村さん、徳富さん、6班江藤さんのゴミ処理



3. 7月29日以来、グリーンコープと園田さんグループの合同チームは、球磨村支援のためへ移動されます。

4. 支援センターとしての機能は、必要な限り維持します。

- ①生活インフラが完成していない家庭の給食支援
- ②生活支援が必要とされる事業
- ③再建のための情報収集と発信
- ④会館再建のための計画と情報収集

5. 8班岩崎（札幌市松本さん、門脇美恵子さん）さんより支援物資いただきました。軍手、タオル、石鹼、ブルーシート、...



しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月3日

下新町は再生するだろうと、確かな手応えを感じています。

昨今のコロナ情勢は、大変な勢いで日本全国を闇に覆い尽くしつつあります。世界一の債権国も、世界一の赤字財政運営で破綻しかねないかも、、、。

球磨村一勝地の知人宅を訪ね、再建のお手伝いに行ってきました。当初は、家屋をつぶしてしまおうと考えでしたが、長野県からのボランティア3人の力をかり、希望を持って進み始められました。夕刻、ゴミ集積所が神瀬小学校に再開されたと聞き、災害ゴミをそちらに運びました。神瀬の惨状は更に甚大で、写真におさめることさえできませんでした。

私たちの町内は、再建の途上ではありますが、全国各地のボランティア延べ600人以上の協力を得ることができました。しかしながら、お隣の球磨村は、いまだに私たちが踏み出した一歩さえ踏み出せていません。

私たちが受けた恩は、どこかでお返しするのが勤めのような気がしてなりません。球磨村は、今から何十倍もボランティアの協力を必要としています。コロナの影響で、グリーンコードのボランティアさえ制限され、人員の確保が困難になってきています。私たちにできる恩返しを、少しずつでも球磨村でしていかなければ、いけないのでと感じた一日でした。

1. 下新町の路上にある災害ゴミは、時間がかかりますが、自力で減らして行けそうです。それに心に余裕がでてきた方は、お隣の事情を忖度（ちょっと不適切かも？）し、手を差しのべていただけませんか。球磨村にすこしでも縁がある方は、その知人を訪ね、可能なお手伝いをしていただけませんか。

2. 4日に、消毒液を取りに行く予定です。必要な方は午前中までにお知らせください。ただ市の広報では、床上浸水したご家庭を対象にしていますので、十分な消毒液は受け取れないかもしれません。

【神瀬の橋げたも倒れています】



【渡の鉄橋の惨状】



明治時代にドイツ人が設計し敷設された肥薩線も、ありとあらゆる所で、線路が寸断され渡の橋脚も倒壊しています。立ち止まって写真に収めるのもはばかれ、トラックで走りながら取った動画のショットです。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月4日

1. 片岡さん空き地は、いよいよ最終段階に入ってきました。明日（5日）には、泥をかき出して、原型復帰にこぎつけます。西側の傾斜と雨水の排水溝、南側の高橋さん宅の雨水の排水溝の泥をかき出さなければなりません。その問題は、解決していません。その後、砂利を敷き詰めますが、その砂利の費用の捻出に苦慮しています。市当局に打診してみようと思っていますが、望み薄そうです。片岡さん空き地の窪みに、スズキの軽自動車が転がっています。「熊本480く8917」この車も出さなければいけません。しかしながら、町内最大の懸案事項は、解決しました。

くまもと友救の会、グリーンコープの合同チームの皆さんをはじめ、中央幼稚園のスタッフ、個人でトラックを調達して排出に参加していただいた8班の一山さん、市議の徳川さんの友人グループ等々。。。本当にありがとうございました。



2. 町内の皆さんにお願いです。まだ、全てが終わったわけではありません。今後は、私たちの手で、少しずつ解決していくかなければなりません。その第一歩が、会館の泥排出とこここの災害ゴミ排出でっす。会館の2階は無事でしたので、分別整理して、とりあえず利用できるようにしたいと思います。時間ができる方は、ぜひ参加ください。

①作業開始：8月8日午前6時～2時間、9日午前6時から2時間

②必要なもの：搬出用トラック、スコップ、バケツ、雑巾

まだグリーンコープさんの、用具が支援センター（家城）にあります。時間が取れる方は、ご協力お願いします。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月5日

1. 8月13～14日、無料レンタル（軽トラック）が予約できました。災害ゴミ処分のための町内活動として要望がありましたら、副会長の藤野さんか、家城までお知らせください。この車で計画していることは、

- ①6班江藤さん（空き家）の災害ゴミ搬出
- ②3班岡田さん（空き家）前と横空き地の泥搬出
- ③その他路上の災害ゴミの搬出です。

8月8～9日の早朝ボランティアを、町内の皆さんにお願いしましたが、空き家処理を放置できないと考えています。時間が取れる方と一緒に、少しずつ処理していくつもりです。早朝2時間の作業にしたのは、猛暑での熱中症の不安からです。また、作業するにあたって、ケガなどの事故の心配もあります。町内全員をボランティア保険に加入するとしたら、一人当たり500円負担しなければなりません。そのため、とりあえず自己負担で協力をお願いすることになります。町内の財源がないわけではありませんので、後日、役員班長会で協議します。

家主との連絡ができていない所は、2班の友井さんだけになりました。家主の了解なしに、災害ゴミを処分できませんので、現段階では保留せざるを得ません。保留を余儀なくされているのは、⑤班の徳富さん、中村さんも同じです。これは、家主の意思表示を確認したうえでの保留です。しかしながら、衛生上の問題が起きないか心配しているところです。その他の空き家の家主は、それぞれに事情を抱えています。そのため、町内会で災害ゴミ処理をせざるを得ないと、思っています。よろしくご協力ください。

2. ボランティア保険に加入される方は、7日午後3時までに、家城までお知らせください。手続きは一括して行います。受付場所は、川上記念球場前のボランティアセンターです。いつでも受け付けています。

3. 消毒液の配布をしました。（対象は、床上浸水した家庭となっています。）取扱いについては、プリントの注意事項を守って、慎重に扱ってください。不用となった薬剤は、回収するようになっています。残った薬剤は、家城まで返却ください。

4. 片岡さんの空き地が完了したら、現地で記念撮影をして、ボランティアの方々に感謝の意思表示をしたいと思います。コロナ問題が解決しませんので、困難かもしれません、可能であれば、みんなでバーベキュー会もやってみたいと考えているところです。

5. 8月3日から、グリーンコープとフリーボランティアの園田さんグループは、球磨村へボランティア活動の主力を投入しています。8月10日から、くまもと友救の会も、拠点を球磨村へ移します。



江藤さん宅



井福さん宅



ボラティアリオちゃん出没

6. 球磨村の現状は、国道沿いの集落を中心に、球磨村ボランティアセンターが、災害対策事業を行っていますが、対岸の集落は橋も道も寸断され、災害ゴミの排出作業が全くできていない所があります。下新で活動してくれたフリーボランティアの森君とグリーンコープ、園田さんグループは、その地域を中心活動しています。

鵜口、那良口、池の下、淋、大坂間と、一つ一つの集落被災者は少なくとも、アクセスが困難で、災害復旧が、未だにできていません。更に、神瀬の集落の復興は相当時間がかかりそうな状況にあります。とにかく人手が足りませんが、許可証がないとボランティアができない事情も、復興を遅らせている原因の一つです。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月6日

1. 片岡さん空き地のフェンス近くは重機操作できないため、フリーボランティアの園田さんグループでスコップ作業となりました。翌7日は、フェンスを高圧洗浄機で洗い、くまもと友救の会による重機処理は、いったん終了となります。砂利を敷き詰める作業は、資金のめどが立ち、準備できれば最後の作業をしていただけます。残念ながら砂利を購入する資金のめどは、立っていません。

7月21日の11時からだったと思いますが、1500m²以上の土地に不法投棄された大量のゴミが、18日目にしてようやく完了しました。この災害ゴミ処理には、重機60（1日3~4台）、トラック70、人員が延べ300人が投入されました。町内だけの処理では到底不可能な作業でした。市当局は、この問題にして、未だに解決案を提示することなく、ただ、分別されていれば回収するの一点張りでした。大変残念です。

くまもと友救の会のボランティア活動が無ければ、あの大量のゴミが放置されたまま、なんの解決の糸口も発見することなく、ここに山積みになっていたはずです。

この土地の復旧に、多くのボランティアの方々のお力添えいただいたことに、あらためてお礼申し上げます。



2. 罹災証明申請の関わる重要な点を、整理しておきます。

（あくまでも、客観的に裏付けられたものではありませんのでご了承ください）

①罹災証明申請できるのは、被災当時そこに明らかに居住していた住民だけが対象となります。（市県民税や光熱水費を払っていても、居住していないと補助金の対象なりません）

②大家さんの被災に対する証明書は、大家さんが家屋に保険をかけていた場合に、その保険料申請のための証明書に過ぎません。（補助金は一切出ません）

③空き家としての家屋には、補助金はありません。さらには、市はその家屋を調査はしても、家屋及び家財道具を処分することはできません。危険家屋として地域住民に被害が及ぶ場合は、別の法律が適用されると思います。

④床下申請も受け付けられましたが、一覧表には、大規模半壊までの基礎支援金と、修理費までしか提示されていません。そのため、補助金が交付されることはないなさそうです。おそらく、赤十字社等に贈られた義援金の配分の対象になるくらいではないかと思われます。

3. 下新町会館の復旧作業は、8・9日の2日間、朝6~8時の2時間です。あくまでも、ボランティアのお願いですので、まだまだ被災して事情がある方まで集合していただく必要はありません。また、万一に備えて自主的にボランティア保険をかけていただくことまでお願いしていますので、決して他意はないことを申し添えます。

4. 下新町6日のボランティアは、くまもと友救の会と園田さんグループでした。空き地のスコップ作業のほか、恒村商店の家財運び出しをはじめ、路上のゴミ撤去作業をお願いしました。8日土曜日には、熊本の女子学生たちが、ボランティア活動をしてくれる情報が入っています。特別に要望があれば、家城までお知らせください。なければ、主に江藤さん宅の家財道具搬出その他を計画しています。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月7日

1. 球磨村に入って、ボランティアのお手伝いをはじめました。下新町の戻間の状況を把握していませんが、片岡さん空き地がすっかり変貌しました。砂利を敷き詰める作業にはいいるためには、その砂利の資金繰りが必要となります。10センチの厚さで、1500平方メートル。60万円の見積もりが来ました。ただ現在、その砂利の調達が困難で、資金作りができたとしても、早々には完成させることができません。

くまもと友救の会のボランティア活動は、まだまだ人吉をはじめ、球磨村各地に下新町以上の被災地が数多くあるため、今後も続けていかれるとの事でした。自主財源でのボランティアですので、毎日、益城町から通わせて、この空き地に取り組んできていただいています。日本人の人々の【ボランティアは無償であるべき】と言う認識を改めないといけないのでは???



2. しんばば一夜物語

今夜（8/6）は、園田さんグループの発案で、ささやかな祝いをすることになりました。3人の子供たちが花火を楽しんでいる姿を見ながら、このような惨事がなければ、出会うこととなかった人たちと盃を交わしながら、このひと月の復興作業の中で起きた、様々な出来事を振り返りながら、炭火の明かりに浮かぶ笑顔に癒されました。

真夜中の静けさの中に、リハビリテーション病院

【1階】の明かりが、遠くに明るく、輝いて見えます。何事もなかったかのように。

あの明かりの中央部分まで、

【1面】濁流が流れてきたのです。

【1面識】もない人々が、被災翌日の午後

【1時】過ぎから、支援物資をかかえて

【1さい】の見返り求めることなく、汗を流してくれました。

3. 明日は、町内会のボランティアによる会館の復興のための、作業を計画しました。屋内の泥上げ作業が主な作業になります。余裕があれば、2階の整理作業もやりたいと思います。ただ、ボランティア保険の申し出が、お一人だけでしたので、うっかりして申し込みそこないました。申し訳ありません。どうぞ、安全第一に取り組んでください。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月8日

下新町会館の再生のため、3段階目の作業が始まりました。早朝6時から、たかだか2時間と思いましたが、思いのほか疲れる作業でした。スコップとバケツそして1輪車での泥のかきき出しでした。2トン+ラック一杯分。タタミの間の基礎はコンクリートではなかったので、完全にかき出すことは困難でした。翌9日も計画しています。よろしくお願ひします。また、参加いただいたみなさん、お疲れさまでした。



写真撮影後、にわかに雨が降る出しました。2時間の作業とはいえ汗だくになりましたのでだ、さわやかなシャワーにも感じたものです。

2日目の9日は、2階の整理もしたいと思います。

金光教協会のボランティア炊き出し第2回目が始まりました。前回は、7月14日から17日の4日間でした。今回も8日から11日までの4日間を計画していただいている。町内の景観は、すっかり見違えるようになりますが、まだまだ、被災された所は、基礎インフラが整ったばかりで、日常生活は未だに大変です。そういう意味でも、炊き出しボランティアの感謝しながら、1日でも早く、かつての日常生活へ向けて頑張りましょう。

8月8日は、まもと友救の会の発案で、記念撮影をしました。少しあたまが痛くなるような人もうつられましたが、、、それでも、【くまもと友救の会】の皆さんをはじめ、多くの協力者の皆さん、心から、感謝する次第です。ありがとうございました。